



## 勇払原野におけるオオジシギ個体数調査 その1

### 目的

オオジシギは個体数が減少していると指摘されているが、過去の生息数との比較を行った研究例が少ないため、2001年に調査が行われた勇払原野において、当時と同じ方法で調査を行い、記録された個体数を比較して個体数に変化が見られたかを明らかにすることを目的とした。

### 方法

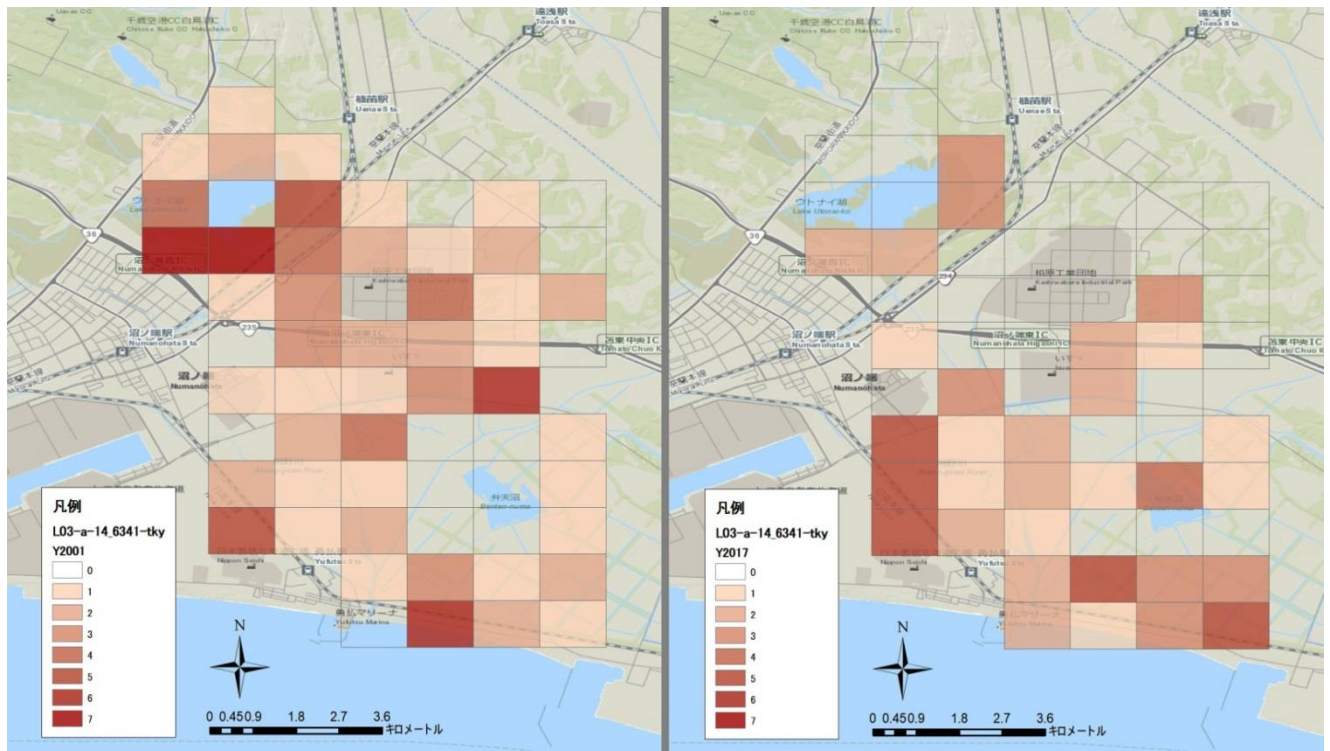
ディスプレイ飛行をしているオオジシギの個体数を把握するため、ウトナイ湖、弁天沼を含む勇払原野に1km×1kmのメッシュを59か所設定し、2017年5月21日(日)、各メッシュ内に1か所ずつ設定した定点で5分間観察を行った。観察はオオジシギのディスプレイが活発に行われる午前5時30分ごろから午前8時ごろにかけて行ない、時間内に肉眼または双眼鏡を用いて目視されたディスプレイ飛行をしているオオジシギの個体数を記録した。メッシュは2001年の調査時に設定されたものの中から、ウトナイ湖と安平川河道内遊水地を含むように選択した。



調査風景

### 結果

59メッシュ中 **減少 28 増加 17 変化なし 14** 2001年と2017年を比較して全体で **30羽の減少** 図では、赤が濃くなるほど個体数が多かったことを表す。調査範囲の北側で特に減少が著しい。一方、個体数が増加したメッシュもある。羽数の変化は環境の変化によると推測される。各メッシュの環境変化については、今後解析予定。



2001年 総確認羽数 107

2017年 総確認羽数 77